

やってみせ  
言って聞かせて  
させてみて  
誉めてやらねば  
人は動かじ



#### 最近の主な論文・評釈

- 「犯罪被害者支援—アメリカ最前線の支援システム」  
(2000年、後書房、日本犯罪社会学会奨励賞)
- 「社会的否認を乗り越えるための臨床家からの提言—犯罪被害者支援」  
(『日本コミュニティ心理学会論集』2006年)
- 「司法解剖をめぐる犯罪被害者支援の現状と課題—事件直後からグリーフセラリングまで—」  
(『京都産業大学論叢(社会科学系列)』第27号)

#### 研究紹介

現在は、被害者が事件直後に速やかに利用できる、ワンストップセンター(一拠点型の被害者支援施設)に関する研究を手がけています。犯罪被害者支援においては、警察、検察などの司法機関、医療、福祉サービス、精神的ケアなど、様々な機関が連携して対応する必要があり、一つの機関ですべての支援、手続が可能なワンストップセンターは、わが国においても注目されつつありますが、その導入には多くの課題があります。海外での実践事例と比較しながら、わが国での有効で実現形態を模索しています。



## 新 恵里

ATARASHI Eri

京都産業大学 法学部 准教授  
専門分野：被害者学、犯罪学

#### 略歴

京都産業大学法学部卒業。大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程修了。大阪市立大学大学院生活科学研究科博士課程修了。博士(学術)。臨床心理士。2003年、大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター専任講師を経て、2006年より本学専任教員。2014年、法務大臣賞受賞。

#### My Hobby

ヘタの横好きですが、陶芸をやって10年以上になります。

#### BEST SHOT

娘のプレゼント絵



#### 研究テーマ

犯罪被害者支援に関する研究をしています。犯罪被害者への支援は、特にわが国では、社会的要請がありながら、法的にも、政策的にも先進諸国から遅れをとっているといわれてきました。主に政策的な観点から、外国との比較研究などを進めていますが、臨床心理士として現場で実践を重ねながら、研究に活かしています。また、犯罪者の再犯防止(新たな被害者をつくらない)という観点から、有効な矯正教育の在り方についても、現場で携わりながら、研究を進めています。

#### 研究の道へ進んだきっかけ

被害者支援の仕事をしたかったので、初めから研究者を志していたわけではありません。被害者支援のテーマがまだまだ未開拓で新しい分野と知り、研究することに意義があると思い、研究職を目指すことになりました。ただ、臨床の場に携わっていながら研究することが大切だと思っていますので、「現場主義」をとって、臨床家としても仕事をしています。

#### 研究者になってよかったと思うこと

何より、自身の関心のあるテーマを探求できることです。研究分野が学際的な分野なので、様々な分野の研究者と出会い、刺激を受ける場が多いこと。また臨床の現場でも多くの実務家の方とお会いし、一緒に仕事をする機会があることです。さらに、大学教員は、教育者としての側面もありますので、自身の研究を学生に伝え、学生にも関心を広げていってもらえることも、喜びの一つです。

#### 座右の銘

やってみせ 言って聞かせて させてみて  
誉めてやらねば 人は動かじ(山本五十六)

#### 研究とプライベートの両立で工夫していること

調査や講演等の社会活動など、出張の機会が多いので、プライベートが日々の仕事に覆われてしまいがちです。娘を出産してからは、意識してプライベートの時間を確保し、切り替えるように心がけています。幼稚園の行事や活動に参加したり、「ママ友」との交流も、よい気分転換になっています。ただ、「仕事と育児の両立」は、元々完全にはできないものだと思っています。私自身、日頃の生活も「両立」にはほど遠い毎日ですが、娘に「仕事をしている自分」を見せ、また学生にもそのような私の姿を見てもらうことで、「仕事をしながら子育てをすること」を、考えてもらえる機会になればと思っています。ですので、娘は、キャンパスにたびたび出だし、ゼミの行事にも登場しています。

#### 未来の研究者へ一言

自身の興味関心に純粋に、妥協なく進んでください。

